

公式記録

平成19年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【37】

主審
署名

大西 弘幸

日時	2008年2月9日(土) 11:00 キックオフ			会場	アスパ五色メイングラウンド					
天候	雨	風	弱風	ピッチ	芝・クレー	状態	良好・不良・泥沼	試合形式	70分/延長分	PK戦有
MF/MF/MF	会場主任			斎藤 司		記録	田坂 昌彦 / 佐野 知彦		観衆	100人
主審	大西 弘幸		副審1	田村 孝次		副審2	野村 力生		第4の審判員	横田 滋

チーム名	kick off					0	前半	0	チーム名	kick off				
科学技術高校	先	2	背番号	O X	0	後半	1	飾磨高校	先	1	背番号	O X		
					延前	延後								
					PK戦									

交代 No.	OUT時間	シュート				得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート				交代 No.
		延後	延前	後半	前半									前半	後半	延前	延後	
	分						古澤 智也 1年 12	GK	GK	1	太田 和輝 2年						分	
	分						荒木 和哉 1年 2	DF	DF	2	植村 将典 2年	1					分	
	分						朴 斗翼 2年 ⑤	DF	DF	3	成瀬 利通 2年	1					分	
	分			2			下田 尚平 2年 7	DF	DF	4	鷺野 拓人 2年	1					分	
	分						呉島 堂真 1年 20	DF	DF	⑤	高野 和輝 2年						分	
HT	分				1		村上 公祐 2年 8	MF	MF	6	堀田 陽介 2年	1	1				分	
66	分				1		橘田 将吾 2年 10	MF	MF	7	平田 直之 2年						分	
	分			*1	1		和定 修平 2年 14	MF	MF	8	角本 陽平 2年	1		*2			分	
	分			1			洞ヶ瀬 太一 1年 18	MF	MF	9	村田 圭 2年						分	
	分			3	2		伊佐 耕平 1年 16	FW	FW	10	尾花 和真 2年			1			分	
	分			*3	2	1	鷺尾 康介 1年 17	FW	FW	11	田中 雄基 2年			2			分	
	分						谷口 航 2年 1	GK	GK	12	藤原 圭祐 1年						分	
10	分						石井 啓太 2年 4	DF	FW	14	武内 大樹 1年						分	
	分						堂安 磨 2年 6	DF	DF	15	井上 裕司 1年						分	
8	分						酒見 成紀 2年 9	MF	DF	16	石井 克輝 1年						分	
	分						竹林 勇 2年 13	FW	MF	17	松栄 紘幹 1年						分	
	分						日置 拓也 2年 15	FW	MF	18	山田 翔太 1年						分	
	分						織田 秀利 1年 19	MF	MF	19	矢吹 将人 1年						分	
	分						神藤 智宏 1年 23	MF	FW	20	影政 拓磨 1年						分	
	分						細川 翔太 1年 24	DF			年						分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	鈴木 利章				監督				菅原 正裕				時間	警・退	No.	氏名	事由		
19分	警	8	村上 公祐	ラフ					チーム合計					合計					41分	警	7	平田 直之	反スボ
34分	警	2	荒木 和哉	反スボ	16		10	6	シュート	4	6		10										
分					11		2	9	GK	4	9		13										
分					5		3	2	CK	0	0		0										
分					8		4	4	直接FK	8	8		16										
分					1		1	0	間接FK	0	0		0										
分					0		0	0	(おサイ)	0	0		0										
分					0		0	0	PK	0	0		0										

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS						
		42分	神戸科技	17	鷺尾	1-0	中央⑩→⑩	SDF	はねかえり	⑩	S	
	63分	神戸科技	14	和定	2-0	中央⑩~→	⑭	S				
	67分	飾磨	8	角本	2-1	右FK⑨	○	中央DF	クリア	④→	⑧	S
	分				-							
	分				-							
	分				-							
	分				-							
	分				-							
	分				-							

戦評者 所属【 県立芦屋・相生産業 】 氏名【 井上・小林 】

雨の中スリッピングなピッチの中、両チームとも4-4-2でスタートした。前半ボールを奪うと素早くDFラインの裏にボールを入れるシンプルな攻撃の飾磨に対して個人技を生かしサイドから突破をはかる神戸科技はサイドからゴール前にボールを入れるが体を張った飾磨DFとゴールポストに阻まれチャンスをものにできなくその後、一進一退で前半を折り返す。後半に入り神戸科技はサイドの選手を入れ替えサイドを果敢に崩しにかかり42分アーリークロスからのシュートのこぼれ球を押し込み先制。飾磨の中盤が下がり気味になることで神戸科技が自由にパスを回せるようになり、63分にゴールを決め試合を決めたように見えたが飾磨はすばらしい粘りをみせ1点を奪い返したが試合終了。どちらも最後まで試合をやり通す力を持っていて今後期待できるチームであった。